



三猿政治が横浜市長選に響いた

菅首相は「見ザル言わザル聞かザル」の三猿だ。
コロナ大流行、医療崩壊の国内情勢を「見ザル」。

記者会見では具体性のない話だけ。記者の質問には意味不明の回答で再質問禁止。政府の考えを「言わザル」。

そして自分の耳に心地よい事しか聞かない「聞かザル」だ。
政府の分科会会長尾身さんも切れた。「テレワークを要請している時にバツハ氏の挨拶が必要なら何故オンラインでできないのか」と。これも「聞か猿」。

世論はカジノ反対
世論調査ではカジノ反対は市民の六割以上。それなのに市長と与党の自公がカジノを推進。このままでは大変「声を上げなくては」と無党派も市長選に投票。投票率は49%と前回より12%近く上がった。

菅政権のコロナ無策に追随した林市政はワクチンの予約で大混乱。怒る市民の声は横浜市長選に現れた。
市長選で立憲、共産、五一一号に「ラムダ株は凄いですね」と書きました。お詫びして訂正します。ホームページの電子版は訂正してあります。

「カジノの是非の住民投票を」と19万の署名を集めた市民運動の結果では？
あなたは どう思われますか？

万騎が原、子ども自然公園

横浜市旭区大池町

二〇二一年八月



この森はどこでしょう？どこの田舎の山の中？実は横浜市内。二俣川南の住宅地の一面なのです。

平安時代には「牧の原」だった。鎌倉時代、数万騎の北条に畠山重忠が討ち取られた。それ以来「万騎が原」と書くようになったとか。約四十年前、開園当初は道も余り整備されておらず野趣たっぷりだった。

飼犬を連れて行ったら、モグラの塚に鼻面を突っ込み夢中で掘っていた。
「万騎が原ちびっこ動物園」もできた。子供達にウサギやモルモットを抱かせてくれる。

目の前は教育水田。小学生が田植えとか稲刈りの体験をするのでしよう。その畦に一ヶ月早く彼岸花が咲いていた。今年の気候不順のせいでしょうか。

